

稲ワラスモツゲノ
たい肥として土に還元しましょう。

広域ゴミ焼却場を建設

今年度から二カ年事業として

大館市と比内町、田代町の二町で構成する大館周辺広域圏組合では、「大館広域ゴミ焼却施設」を建設することに、五十七年三月の完成をめざしていま、盛んに工事が行われて

います。このゴミ焼却施設は、沼館道南地内にある市の衛生センター内に総工費約十七億円で建設されていくものと見られています。現在、市のゴミ焼却場は、昭和四十二年に建設されたもので、その焼却能力は一日九十トです。



基礎工事中のゴミ焼却場

が、施設のいたみにつれ処理能力が低下していることと年々増えるゴミに対処するため、新しく広域事業として二カ年計画で建設することにしました。新施設は、管理棟、工場棟、制御室などからなり、完成後のゴミ処理能力は、一日二百トが見込まれ、昨年沼館地内の上堤沢に完成した粗大ゴミ処理施設とゴミ埋立地とによって、一環したゴミ処理が可能となります。

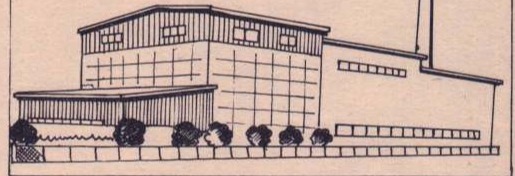
捨てる前に

もう一度見直しを

ゴミ処理施設が完備されてもゴミの収集作業に多くの費用を必要とすることに変わりません。家庭でいらぬものが出てき

たからといってすぐに捨ててしまわないで、もう一度見直しをしてみよう。それがゴミの減量につながる早速です。ぜひご協力ください。

広域ゴミ焼却場の完成予想図



読書の楽しさを 子供たちにも

～大館親子読書会～

われらが町内 わがグループ

No. 18

10月27日から読書週間が始まっていますが、今回は昭和52年以来、お母さんたちを中心に熱心な読書活動を続けているグループ「大館親子読書会」を紹介します。



良い本を探すのも楽しみのひとつ

同会は、お母さんたちが小さい子供たちに良い本を教えてあげたい、読んで聞かせてやりたい、そして自分たちもたくさんの良い本にふれたいと作られたグループで、現在その会員は13名、毎月1回栗盛記念図書館2階に集い楽しい活動をしています。みなさん主婦でありお母さんでもあることから、家事や育児の余暇を割いての活動ですが、狭い家庭の中だけに閉じこもり、何もせずすると時間を過してしまうのはもったいないと、童話や絵本の類から、千ページを超える大作にまで挑戦、読破しています。また、子供たちの夏休み、冬休みには主に小学校低学年を対象にした本の朗読やカルタ取り大会を催し大変喜ばれています。今年の夏は終戦から35年ということで、子供たちに命の尊さを知ってもらおう、そして自分たちももう一度戦争の悲惨さ、なぜ起ったのかその原因を考えてみようという「ヒロシマのピカ」など戦争を題材にした幾つかの本をとりあげました。

「少しでも多くの本を読み、世の中を見る確かな目を養いたい。そして子供たちにもできるだけ早く文字と出会い、親しんでもらって、本からいろいろなことを学び感動してほしい」とある会員の方が話してくれました。

一昨年は、自分たちの文集「いしげえ」を創刊、それぞれ自分と本とのかわりあい、これから子供たちへどう受け継いでいっていいのだろうか、文章化してみました。また、子供たちにも自由に作文を書いてもらい、まさに記念すべき一冊ができました。これからたくさんの良い本を読み、子供たちとも一緒に考え、感動しあっていけたらというのが会員みんなの願いです。なお、同会に入会希望の方は下記へご連絡ください。

会長 山田恵子さん(城西町) 電話 49-1009

子ども会大会

第五回大館市子ども会大会は十月十九日、中央公民館で市内各子ども会より子たち百五十人が参加して行われました。大会では、本宮と南田代町の子ども会の体験発表や大館ばやしの鑑賞そしてゲームなどで楽しい一日を過ごしました。

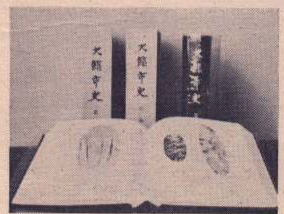


フォトニュース

フォトニュース

お米に対する関心を呼び戻し、おいしい秋田米を見直してもらおうと十月十八日から三日間大館コメまつりが行われました。会場では、新米の販売、お米つかみ大会、米加工品の展示などが行われ、たくさんの人でにぎわいました。

大館の歴史を知る本 「大館市史」のご購読を!



市では、いま、大館市の歴史書「大館市史」の編纂事業をすすめています。これまでに第一巻と第二巻を刊行しました。その内容は、第一巻が原始、古代、中世の時代における風土、文化。また第二巻は佐竹氏の水戸から秋田への移封後における政治、産業、文化などとなっています。第一、二巻ともまだ在庫がありますので、ご購読希望の方は市役所内「市史編纂さん室」へおいください。

△頒布価格▽ 第一巻三、八〇〇円 第二巻三、四〇〇円

水を考える

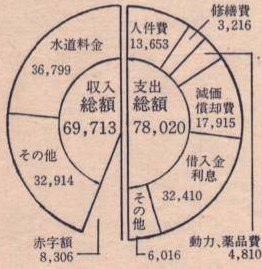
- 1 -

市では、日常生活に欠かせない水を、安全で豊富に送り続けるため、水道施設の維持管理に二十四時間体制と懸命の努力で運営しています。しかし、水道事業には莫大な経費がかかることから、水道財政は常に綱渡りの状態が続いています。そこで、その実状を今回からシリーズでお伝えし、皆さんとともに暮らしたの「水」について考えていきたいと思います。

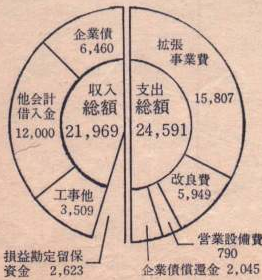
苦しい水道財政

水道財政は、「収益的収支」と「資本的収支」に分かれて事業が運営されています。収益的収支は、水道料金を主な収入とし、人件費や借入金利息に支出、資本的収支の収入は国からの借入金などで、そのほとんどが施設の拡張事業や改良費に使われています。左の図は五十四年度の決算ですが、収益的収支表のとおり収入に対し支出が約八千三百

〈収益的収支〉 単位・万円



〈資本的収支〉



こうした苦しい状態の中で水道事業が運営されています。皆さんの今後一層のご理解とご協力をお願いします。

11月には「青少年保護育成強調月間」です
大館市青少年問題協議会